

【第44回中国ミニバスケットボール大会 出場報告書】

牟礼中央ミニバスケットボールクラブ男子
コーチ：佐藤 清

鳥取県で2/23と2/24に開催された本大会に山口県代表として出場させていただきました。牟礼中央ミニバス男子チームとして12回目の出場、山口県男女を通じて単独トップの最多出場回数ของทีมとしての参加となりました。

2月初旬と大会前から最強寒波が中国地方に南下したことにより、山間部と山陰側で積雪が多く通行止めなど心配されましたが、大会前日入りで現地に無事到着致しました。鳥取砂丘の観光を予定していましたが、10年前、20年前と同様に砂丘の砂を踏むことはできませんでしたが、3度目にして鳥取砂丘の雪景色を観られたことはとても素晴らしい思い出になりました。

中国大会当日を迎えるにあたり、体調不良や故障者等正規メンバーで揃って挑むことはできませんでした。しかも…大会期間中の故障者もありで、メンバー構成を変更してのぶっつけ本番で挑むことになりましたが、全員バスケをチームで目標として常日頃から大会出場や練習していることもあり、なんとか全員の参加メンバーで2日間大会に参加することができました。

1日目のリーグ戦、『岩倉ミニバス（鳥取県）& 山手ミニバス（広島県）』
第1試合目は、20年前にこの地で対戦敗戦した記憶にある岩倉ミニバスさんと対戦。20年越しのリベンジと息を巻くも、初戦の難しさとメンバー構成の変更からかなかなか思うように展開できずとなりましたが前半5点リードで終了。4Q途中11点のリードをしていましたが、終盤相手のプレッシャーに押されつつも勝利することができました。

第2試合目、同じく1勝している山手ミニバスと対戦。勝利した方が1位グループのベスト4となる為、相手チームの気迫が上回り相手のエース1人を止められず1Qは6点ビハインド。特に2Qではシュートを打たしてもらえない徹底的なチャージを受けフィールドゴールを奪えなくても、フリースロー全てを決めたキャプテンの集中力で追いすがり4点ビハインド。後半、ベストメンバーとなりチームのディフェンスが機能し（ヘルプカバーローテーション）相手エースのプレーをさせなかったことが得点を与えず、しかし…必要以上にプレスの連続とペイントへのドライブができない状況にミドルシュートが全て決まらずの6点ビハインド。ラストQで送り出す時に『勝つ気持ちが強い方が勝つ！』と選手を送り出し、ディフェンス強度が上がり得点させずとなり、その勢いでオフェンスに繋がり残り1分でやっとの逆転！そのまま勝利し準決勝進出。

2日目の準決勝、八子津山ミニバス（岡山県）との対戦。このチームは今大会の優勝チームで、全てを備えた超エース級（高身長,高身体能力,高スキル）の選手に圧倒的で対応できずの15点ビハインド。2Qもそのままのムードから少しでも追いつきたいところでしたがそのままの点差。3Q、ほぼ互角も点差は変わらずと4Qはお互い出場していない選手と交代するなどでした。2Qからは戦えていただけに、1Qの圧倒撃滅が勝負となった試合となり敗戦となりました。

3位決定戦、島根マリンミニバス（島根県）との対戦。この試合を迎えるにあたり、満身創痍の状態に挑むこととなり、しかも160cmオーバーが半数？とサイズ差が半端ないこともありで、万全で挑めたなら…と思うも最後に意地を出せたことが唯一の救いでしたが敗戦となりました。

中国大会 第4位 牟礼中央ミニバスクラブ男子・・・最終結果となりましたが、今大会最小チームとし立派な成績だったと思います。『平面を制する者はゲームを制する！』を掲げ挑みましたが県大会同様、高さや能力者に屈することで達成することはできませんでした。主力5人であれば能力選手をどうにか対応できても、10人（3学年で構成）というところでは抑えきれないことも反省と課題となりました。ミニバス特有の能力高い早熟選手がどうしても有利となることを小さな選手がどのようにして挑み打ち勝つことができるのか？その答えを選手と共に乗り越えられる時を目標に今後も勇往邁進で精進いたします。中国大会での素晴らしい貴重な経験を、選手の今後の活動やそれぞれ人生に生かしてもらえたらと思います。

最後に、大会関係者多くの方々のご尽力のお陰でトラブルもなく、大雪の中での開催も無事終わることができました。大会へのご声援ご支援等、沢山のチーム関係者や保護者の皆様に支えられての大会出場に本当に心からの感謝とお礼を申し上げます。大変お世話になり有難うございました。



第44回中国ミニバスケットボール大会出場報告書

牟礼中央ミニバスケットボールクラブ男子
保護者代表 小田 依里香

私達、牟礼中央ミニバスケットボールクラブ男子は、2月23日・24日に開催された、第44回中国ミニバスケットボール大会に山口県代表として出場しました。

牟礼中央ミニバスケットボールクラブ男子としては12回目の出場となります。

中国大会出場が決まってからは、コーチをはじめ保護者一同子供たちのサポートをしっかりとしてきました。体調不良やケガなどメンバー全員揃わず、日々の練習をはじめ、試合でも厳しい戦いになることも多々ありました。それでも、子供たちの中国大会で優勝したいという思いが強くてたくさん練習や試合を積み重ねて大会当日に挑みました。

当日は大寒波に見舞われ、鳥取県まで行けるのか不安もありましたが、そんな不安とは裏腹に初めてみる雪の量に子供たちは大喜びでした。こんな経験もなかなかできないことだと思います。

大会1日目。1試合目は、鳥取県代表 岩倉Golden Wings戦でした。初戦ということもあり大きな舞台で少し緊張していた子供たち。なかなか自分たちのバスケが出来ず苦戦する場面もありましたがチーム一丸となり、無事に勝利することが出来ました。

2試合目は、広島県代表 山手イーグルス戦でした。立ち上がり少し苦戦するも、徐々に点差を詰めることができ勝負の4Qへ。子供たちの目の色も変わりやっとなんからしいバスケができたんじゃないかなと思います。この試合では、途中うまいかず悔し涙を流したキャプテン、大きい相手にも立ち向かう4年生、どんな時も諦めずに頑張る5年生、どんな場面でも頼りになる6年生。最後まで子供たちを鼓舞してくれたコーチ。そして、誰よりも一番そばでサポートしてくれて応援してくれた保護者のみなさん。チーム全員の『勝ちたい』という気持ちが1つになって掴めた勝利でした。

大会1日目は、見事2勝してベスト4に入ることが出来ました。

大会2日目は、1位リーグでの試合となりました。準決勝 岡山県代表 八子津山ミニバスケットボールクラブ戦でした。背の高い選手・身体能力が高い選手が多く子供たちも健闘し、やっとなんか掴めたものの敗戦しました。

3位決定戦は、島根県代表 島根マリン・ファイターズMBC戦でした。平均身長が今大会で最小の牟礼中央にとって、またまた背の高い選手が揃っているチームでした。スピードでなら負けないと最後まで諦めずに頑張りましたが、敗戦となりました。

2日目は2敗してしまいましたが、牟礼中央ミニバスケットボールクラブ男子は、今大会『第4位』という成績をおさめることが出来ました。

中国大会という大きな舞台に立てたことは子供たちにとって、とてもいい経験になり一生の宝物になると思います。中国大会優勝という目標には届きませんでした。この試合で得たこと・経験したことをこれから先の次なるステップへ生かしていけるように、そして、牟礼中央ミニバスケットボールクラブ男子を応援して下さった皆さまへの感謝の気持ちを忘れずに、これからも日々の練習をしっかりと頑張っていってほしいと思います。こんなに素晴らしい舞台に連れてきてくれた選手・コーチには感謝の気持ちでいっぱいです。

最後に、大会関係者の皆様、大変お世話になりました。大寒波の中の大会準備・運営等ありがとうございました。心より感謝申し上げます。そして、山口県ミニバスケットボール協会の皆様にも心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

【試合結果】

牟礼中央 47 — 40 岩倉Golden Wings
牟礼中央 40 — 36 山手イーグルス
牟礼中央 26 — 47 八子津山ミニバスケットボールクラブ
牟礼中央 38 — 45 島根マリン・ファイターズ MBC

